

経済データで見る「最近の世界経済動向(2012年10~12月)」

\* 青字は悪化指数、%は前年比

2012.12.20.現在 日本機械輸出組合

	2012年10月	2012年11月	2012年12月	最近の経済動向
世界	-G7、経済減速回避で連携、IMF、世界経済減速懸念 -GDP:IMF12年:世界3.3日2.2米2.2 1-0 0.4 独0.9 -ドバイ原油6日109.4ドル -9月:世界半導体売上3.9%減 -7-9月:世界M&A15%減、世界パソコン出荷8.6%減	-ドバイ原油1日107ドル21日103.8ドル -10月:世界半導体売上2.3%減	-ドバイ原油1日108.4ドル17日104.7ドル	・欧州経済は信用不安で低迷、同地域向け輸出が減少。中国経済は減速も成長維持。インドネシア、インド、ベトナムは5%以上成長、タイ堅調。米経済は消費堅調で回復傾向持続。我が国経済は輸出不振等でマイナス成長。
日本	-GDP:7-9月:前期比年率3.5%減、消費0.5投資3.2輸出5% -景気等:9月:大企業製造業景況感マイナス3で2ホ悪化 -財政・金融:5日日銀金融政策現状維持、26日経済対策決定7,500億円、30日金融緩和決定 国債買入基金11兆円増 金融機関貸出分に無制限融資 -株価:12日8,534、23日9,014、31日8,968 -物価:5日DRAM最安値、デジタル家電半年で半額、 -雇用:ソニー早期退職2,000人、9月:失業率4.2%横這 -所得:9月:勤労者時収入1.8%増 -消費:9月:消費0.1%増、車販売8.1%減、住宅15.5%増 -受注:9月:機械18.6%減、工作3%減、4-9月:産機24%減 -生産:9月:鋳工業8.1%減、前月比4.1%減、車12.4%減 -貿易:9月:輸出10.3%減、輸入4%増 -収益:4-9月:営業益:タイン4%増、東芝10%減、コマツ20%減、IHI14%減、川重61%減、日立ハイテク41%増、ニコン43%減、NEC6倍400億円、純益:三菱自2.8倍、富士重22%増、最終損:シャープ4千億円、ルネサス1,150億円、 -投資:7-9月:設備投資2.2%増、機械受注民需7.8%減	-政治:16日衆議院解散12/16選挙 -財政・金融:30日経済対策第二弾閣議決定8,800億円 -株価:13日8,637、30日9,483 -雇用:シャープ早期退職2,900人、10月:失業率4.2%横 -所得:冬ボーナス4.4%減 -消費:10月:小売販売1.2%減、車販売5.7%減2ヶ月- -受注:10月:機械6.9%減、工作機械6.7%減 -生産:10月:鋳工業4.3%減、前月比1.8%増 -貿易:10月:輸出6.5%減、入1.6%減、欧日EIA交渉決定 -収益:7-9月:経常益:上場企業8%減、製造業21%減、4-9月:純益:丸紅2%増1,053億円、最終損:ソニー401億円、沖67億円、今3月期:純益:トヨタ2.8倍1兆円、日産6%減、三井物産26%減3,200億円、オクマ28%減、ハイオン73%減、経常益:上場企業6%増、三菱重4%増900億円、ニコン16%減750億円、最終益:ソニー200億円、最終損:パナソニック7,650億円、シャープ4,500億円、セイコエレクトロニクス150億円、 -投資:10月:機械受注民需1.2%増、製造工業稼働率前月比1.6%増、12年度:16%増、海外45.3%増	-景気等:10-12月:製造業景況感-12二期連続悪化、自民党大勝政権交代 -財政・金融:20日・日銀追加緩和国債等買入10兆円増額、物価上昇率目標検討 -株価:1日9,446、19日10,160 -所得:冬ボーナス3.1%減 -消費:11月:新車販売0.4%減 -貿易:11月輸出4.1%減、入0.8%増 -受注:11月:工作機械20.7%減 -収益:11月期:純益:不二越25%減、 -投資:今後3年間:コマツ300-500億円国内効率化投資	(前々月)・GDP7-9月は3.5%減とマイナス。失業率横這い。消費は横這。車減少、住宅回復兆し。輸出は欧州、中国不振で大幅減少続く。受注・生産も大幅減少。投資も減少傾向。経常益7-9月はマイナスへ、自動車、産業機械は回復傾向、民生電子、通信機器は不振。株価は回復傾向。景気回復、雇用拡大が課題。貿易収支の赤字が懸念材料 (前・当月)・GDP7-9月は3.5%減とマイナス。失業率高位横這。消費は低迷。車減少、住宅回復兆し。輸出は円高是正傾向も大幅減少続く。受注・生産も減少。投資は低い伸び。経常益7-9月はマイナスへ、自動車、産業機械は回復傾向、民生電子、通信機器は不振。株価は回復傾向。景気回復、雇用拡大が課題。貿易収支の赤字が懸念材料
アジア・大洋州	-株価:上海9日2094、19日2129、31日2057 -アジアGDP:12年:アジア6.1、中国7.7、インド5.6、インドネシア6.3、マレーシア4.6、フィリピン5.5、タイ5.2、ベトナム5.1 -中国:9/30-10/7日国慶節、9月:製造業景況感49.8前月比0.6ホ上昇、輸出9.9%増、輸入2.4%増、対中直接投資6.8%減、小売14.1%増、車販売1.8%減8ヶ月ぶり-、7-9月:GDP7.4%、前期比2.2%増、純益:大企業7.8%増、TCL29%減、最終損:ZTE248億円、1-9月:工業10%増 -韓国:11日、政策金利0.25%引下げ2.75%へ、9月:輸出1.8%減、輸入6.1%減、7-9月:GDP前期比0.2%増、投資4.3%減、輸出2.5%増、営業益:サムスン91%増5,700億円過去最高、LG電子150億円、現代自3%増、現代重35%減 -台湾:9月:輸出10.4%増7ヶ月ぶり+、鋳工業生産3%増3ヶ月+、7-9月:純益:TSMC62%増1,350億円、HTC79%減、最終益:エーサー1.9億円、最終損:友達450億円 -ベトナム:9月:鋳工業9.7%増、車販売9%増、7-9月:GDP5.35% -タイ:18日政策金利0.25%引下げ2.75%、9月:車53%増 -シンガポール:7-9月:GDP0.3%増 -マレーシア:7-9月:GDP5.2%内需増、輸出3%減 -インド:9月:新車販売4%増、卸売物価7.8%	-株価:上海5日2109、30日1974 -中国:7-9月:純益:レノボ13%増、格力57%増、三一重66%減、10月:製造業景況感50.2、0.4ホ上昇、輸出11.6%、入2.4%増、工業生産9.6%増、個人消費13.5%増、新車販売5.3%増160万台、1-9月:可処分所得13%増 -韓国:9金利据置、輸出1.1%増、7-9月:GDP前期0.1%増 -台湾:7-9月:GDP1%増2四半期ぶり+、純益:UMC24%増、広達19%増、アスース43%増、最終損:奇美101億円、10月:輸出1.9%減、海外受注3.2%増スマホ部品 -東南アジア:10月:新車販売58%増33.2万台 -フィリピン:7-9月:GDP7.1%増7割消費好調 -インドネシア:賃上げ要求高まる、9月:新車販売28%増、7-9月:GDP6.2%増、消費5.7%増、10月:輸出10.8%増、赤字15.5億ドル、消費者物価4.6%、新車販売24%増 -タイ:18TPP参加、7-9月:GDP3%増、10月:自動車生産5.1倍25万台、減税駆け込み、前年洪水 -インド:31日預金準備率引下げ、7-9月:GDP5.3%増、消費3.7、政府8.7、資本形成4.1、輸出4.3、営業利益:大手企業2%減、タタ9.9%増、10月:鋳工業生産8.2%増、車販売27%増31万台、インフレ率7.45%	-アジアGDP:12年:アジア6、中国7.7、インド5.4、 -株価:上海4日1951、18日2176 -中国:11月:工業生産10.1%増、小売売上高14.9%増、新車販売8.2%増179万台、製造業景況感50.6、0.4ホ上昇、1-11月:固定資産20.7%増 -台湾:TSMC4,300億円投資スマホ等システムLSI、11月:輸出額0.9%増スマホ半導体 -東南アジア:賃上げの波(ジャカルタ44%増、タイ4~9割、ハノイ1月7,8009,165円、 -インド:19日・政策金利年8%据置、11月:新車販売1%増28.8万台、卸売物価7.2%増	(前々月)・中国は7-9月GDP7.4%、投資・消費高水準維持、車販売、輸出回復傾向、株価低迷。韓国、輸出、投資横這、消費で成長維持、企業業績明暗。台湾、輸出、生産底打傾向、企業業績明暗。インドネシア、マレーシア、ベトナム経済好調。タイ3%台に減速。シンガポールは横這い。インド、5%台成長に鈍化、車販売は回復傾向、輸出不振、生産低迷、物価再び上昇傾向 (前・今月)・中国は7-9月GDP7.4%、投資・消費高水準維持、車販売、輸出回復傾向、株価底打ち傾向。韓国、輸出、投資底打ち傾向、消費で成長維持、企業業績明暗。台湾、輸出、生産底打傾向、企業業績明暗。インドネシア、ベトナム、マレーシア、フィリピン経済好調。タイ3%台に減速。シンガポールは横這い。インド、5%台成長に鈍化、車販売、生産、輸出は回復傾向、物価再び上昇傾向

北米	<p>-GDP:7-9月:前期比年率 3.1%増、消費 1.6%、住宅14.4%増、設備投資 1.3%減、輸出 0%</p> <p>-景気:11日地区連銀、一般的に緩やかに拡大</p> <p>-財政・金融:25日FOMC金融緩和策据置、12年度:財政赤字 1兆ドル超(16%減)4年連続</p> <p>-株価:NYダウ 5日 13,630 ドル、12日 13,317 ドル、16日 13,551 ドル</p> <p>-雇用:12日、アライド 1300人削減、9月:失業率 7.8% 0.3ポイント改善、11万人増</p> <p>-所得:9月:個人所得前月比 0.4%増</p> <p>消費:9月:個人消費前月比 0.8%増、小売売上高 5.4%増、新車販売 12.8%増日本車好調、住宅着工 42.9%増、新築販売 27.1%増、</p> <p>-受注:9月:耐久財前月比 9.9%増</p> <p>-生産:9月:鉱工業前月比 0.4%増</p> <p>-貿易:9月:輸出 3.8%増、輸入 1.5%増</p> <p>-収益:7-9月:純益:主要 500社 1%減、GE 8%増 2,760億円、IBM 0.4%減、38億ドル3年ぶり -、インテル 14%減、30億ドル、TI 30%増、クアルコム 20%増 12.7億ドル、スマホ、グーグル 20%減、マイクロソフト 22%減、フォード 1%減、キャピラー 49%増 1,360億円、ホーニング 6%減、最終損:AMD1.5億ドル</p>	<p><b>-7日オバマ大統領再選</b></p> <p>-景気:10月:製造業景況感 51.7、0.2ポイント上昇</p> <p>-財政・金融:14日FRBゼロ金利 16年初めまでの可能性大、債務上限年内到達</p> <p>-株価:NYダウ 6日 13,245 ドル、27日 12,878 ドル、29日 13,021 ドル</p> <p>-雇用:15日 TI 1700人削減、10月:失業率 7.9%、0.1ポイント悪化 17万人増</p> <p>-所得:10月:個人所得前月比横這い</p> <p>消費:10月:個人消費支出前月比 0.2%減、主要小売業売上 5%増、新車販売 6.9%増 109万台、住宅着工 3.6%増危機前水準へ、住宅販売 17.2%増、</p> <p>-生産:10月:鉱工業前月比 0.4%減 2ヶ月ぶり -</p> <p>-貿易:10月:輸出 0.4%減、輸入 1%減</p> <p>-収益:8-10月:純益:シスコ 18%増 1660億円、デル 47%減 380億円パソコン減少、最終損:HP 68.5億ドル不正経理</p>	<p>-景気:11月:製造業景況感 49.5、2.2ポイント低下</p> <p>-財政・金融:13日FOMC失業率 6.5%までゼロ金利、長期国債買入</p> <p>-株価:NYダウ 4日 12,951 ドル、19日 13,350 ドル</p> <p>-雇用:11月:失業率 7.7%、0.2ポイント低下、14.6万人増</p> <p>消費:11月:小売売上 3.7%増、前月比 0.3%増、新車販売 15%増 114.2万台、住宅着工前月比 3%減</p> <p>-生産:11月:鉱工業 1.1%増</p> <p>-収益:9-11月:純益:オラクル 18%増</p>	<p>(前々月)・GDPは7-9月 2.7%増で13期連続+。失業率高水準横這い。車・住宅販売高水準もやや減速、個人消費は堅調。投資は回復傾向もやや減速。輸出は鈍化。生産は鈍化傾向。企業収益 7-9月 1%減で13期ぶりにマイナス、企業により斑模様。株価はやや低下傾向。</p> <p>高水準の失業率、財政赤字が懸念材料。雇用拡大が課題</p> <p>(前・今月)・GDPは7-9月 3.1%増で13期連続+。失業率高水準もやや低下。車・住宅販売好調、個人消費は堅調。投資は回復傾向もやや減速。輸出はマイナスへ。生産は鈍化傾向。企業収益 7-9月 1%減で13期ぶりにマイナス、企業により斑模様。株価は底打ち傾向。</p> <p>景気回復の持続、高水準の失業率、財政の崖が懸念材料。雇用拡大が課題</p>
欧州	<p>-GDP:7-9月:ユーロ 0.6%減、独 0.9、仏 0.1%、英 0、蘭 1.4%減、伊 2.4%減、スペイン 1.6%減、</p> <p>-財政・金融:8日、欧州安定メカニズム(ESM)発足、資金 5千億ユーロ新たな支援に適用、</p> <p>-株価:英 FTSE 5日 5,871、10日 5,776、16日 5805</p> <p>-雇用:9月:失業率:ユーロ 11.6%、0.1ポイント上昇、戦後最悪、独 5.4、仏 10.8、蘭 5.4、伊 10.8、スペイン 25.8、ポーランド 10.1</p> <p>-消費:9月:小売売上高:ユーロ 0.8%減、独 0、仏 3、英 4、蘭 3.6、スペイン 12.6%減、ポーランド 0.5%減、新車販売:ユーロ 11%減、独 11%減、仏 17.9%減、英 8.2%増、伊 25.7%減、蘭 27.7%減、スペイン 36.8%減、ポーランド 10.7%減</p> <p>-生産:9月:鉱工業:ユーロ 2.3%減、独 1.6%減、仏 2.4%減、英 2.6%減、蘭 1%減、伊 4.8%減、スペイン 7%減、</p> <p>-収益:7-9月:純益:タイムラー 14%減 1,100億円、BMW 16%増、フィアット 40億円、シメクス 4%増 1,230億円、フィリップス 2.3倍 170億円、北米、新興国、最終損:ノキア 1千億円</p>	<p>-GDP:12-13年:ユーロ 0.4%減 0.1%増、独 0.8 0.8、仏 0.2 0.4、伊 2.3減 0.5減、スペイン 1.4減 1.4減</p> <p>-財政・金融:9日ECB政策金利 0.75%で据置、英 0.5%で据置、ギリシャ融資再開 20年債務 170 124%へ</p> <p>-景気等:10月:ユーロ景況感 84.5% 0.7ポイント低下</p> <p>-株価:英 FTSE 6日 5,884、16日 5,605、29日 5870</p> <p>-雇用:10月:失業率:ユーロ 11.7% 0.1ポイント悪化、独 5.4%、仏 10.7%、伊 11.1%、蘭 5.5%、スペイン 26.2%、ポーランド 10.4%</p> <p>-消費:10月:小売売上高:ユーロ 3.6%減、独 3.8%減、仏 0.7%増、英 1.9%増、スペイン 11.5%減、ポーランド 4.4%減、新車販売:欧州 5%減 93.5万台、独 0.5%、仏 7.8%減、英 12.1%、伊 12.4%減、スペイン 21.7%減、ポーランド 2.2%減</p> <p>-生産:10月:鉱工業:ユーロ 3.6%減、独 3.8%減、仏 3%減、英 3.5%減、伊 6.2%減、蘭 3.9%減、スペイン 3.3%減、ポーランド 1.1%増</p> <p>-貿易:9月:ユーロ 輸出 1%増、輸入 4%減、10月:ユーロ 輸出 14%増、輸入 7%増</p>	<p>-株価:英 FTSE 4日 5,869、19日 5,961</p> <p>-財政・金融:英:14年法人税引下げ 21%へ、7日政策金利年 0.5%据置</p> <p>-消費:11月:新車販売:欧州 10%減、独 4%減、仏 19.2%減、英 11.3%、伊 20.1%減、蘭 26.4%減、スペイン 20.3%減、ポーランド 6.7%減</p>	<p>(前々月)・GDP 7-9月は二期連続でマイナス。過去最悪の失業率で消費はマイナス、自動車販売大幅減少続く。輸出は 1%増に減速。投資は停滞。生産はマイナス続く。企業業績は自動車、医療機器関係が総じて好調も斑模様、株価は低迷続く。</p> <p>信用回復、景気回復、雇用確保が課題</p> <p>(前・今月)・GDP 7-9月は二期連続でマイナス幅。過去最悪の失業率で消費はマイナス幅拡大、自動車販売大幅減少続く。輸出は底打ち傾向。投資は停滞。生産はマイナス幅拡大。企業業績は自動車、医療機器関係が総じて好調も斑模様、株価はやや回復兆し。</p> <p>信用回復、景気回復、雇用確保が課題</p>
中東		<p>-エジプト:IMF 3800億円支援融資</p>	<p>-トルコ:政策金利 0.25%引下げ年 5.5%へ</p>	<p>・主要国経済は政変沈静化で回復の兆し。太陽光、電力、水、石化プロジェクトに復興需要。中東情勢の安定化、景気回復が課題</p>
中南米	<p>-ブラジル:11日、基準金利 0.25%引下げ 7.25%へ、7-9月:0.9%増、前月比 0.6%増、1-9月:自動車販売 4%増、278万台</p> <p>-メキシコ:7-9月:GDP 3.3%増鈍化(4-6月 4.4%増)</p>	<p>-ブラジル:29日、政策金利 7.25%で据置、10月:新車販売 22%増 34万台</p>	<p>-ブラジル:7日、港湾設備に 2兆円(14年から4年間)</p>	<p>・ブラジル経済は金融引締緩和で自動車等消費を中心に回復の兆し。メキシコ経済はやや減速も堅調に推移、持続的成長が課題。</p>
露東欧	<p>-ロシア:7-9月:GDP 2.9%増鈍化(4-6月 4%増)消費・投資に陰り、小売 4.4%増</p>	<p>-ロシア:10月:新車販売 5%増 25.3万台</p>	<p>-ロシア:11月:新車販売 0.4%減 24.3万台</p>	<p>・ロシアは石油価格の高止まりも輸出やや減速、投資、消費に陰り、車販売マイナスへ、経済成長減速。持続的回復が課題。</p>